

ほう しん 带状疱疹予防接種を受ける方へ

～予防接種に欠かせない情報です。必ずお読みください。～

この説明文をお読みいただき、「川崎市带状疱疹予防接種予診票」を御記入の上、医師の診察を受けてください。もし、普段と変わったことがあった場合には、医師に御相談ください。

1 带状疱疹とは

带状疱疹は、過去に水痘にかかった時に体の中に潜伏した水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経に沿って、典型的には体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水疱(水ぶくれ)が出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「带状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。

带状疱疹は、70歳代で発症する方が最も多くなっています。

2 带状疱疹ワクチンとは

带状疱疹ワクチンには生ワクチン(阪大微研:乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」)、組換えワクチン(GSK社:シングリックス)の2種類があり、接種回数や接種方法、接種スケジュール、接種条件、効果とその持続期間、副反応などの特徴が異なりますが、いずれのワクチンも、带状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。

带状疱疹ワクチンの接種を希望される方は、この2種類のいずれかを選択して接種を受けます。

選択にあたって不明な点がある場合は、医師に相談してください。

	生ワクチン(阪大微研)	組換えワクチン(GSK社)
接種回数(接種方法)	1回(皮下に接種)	2回(筋肉内に接種)
自己負担金	4,000円	10,000円(1回) ※ 組換えワクチンは、2回の接種を実施しますので合計の自己負担金は20,000円となります。
接種スケジュール	—	原則、2か月以上の間隔を置いて2回接種 ※ 病気や治療により、免疫の機能が低下したまたは低下する可能性がある方等は、医師が早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔を1か月まで短縮できます。
接種できない方	病気や治療によって、免疫が低下している方は接種できません。	免疫の状態に関わらず接種可能です。
	(1)明らかに発熱している方(37.5℃以上) (2)重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方 (3)それぞれの予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを呈したことが明らかな方 (4)その他、医師が予防接種を行うことについて不適当な状態と判断する方	

	生ワクチン(阪大微研)	組換えワクチン(GSK社)
接種に注意が必要な方	輸血やガンマグロブリンの注射を受けた方は治療後3か月以上、大量ガンマグロブリン療法を受けた方は治療後6か月以上置いて接種してください。	筋肉内に接種をするため、血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施されている方は注意が必要です。
	(1) 過去に任意で帯状疱疹ワクチン(生ワクチン、組換えワクチン)を接種したことがある方 (2) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患のある方 (3) 過去に予防接種を受けて2日以内に発熱、全身性発疹等のアレルギーを疑う症状のみられた方 (4) 過去にけいれん(ひきつけ)を起こしたことがある方 (5) 過去に免疫不全の診断がなされている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方 (6) 帯状疱疹ワクチン(生ワクチン、組換えワクチン)の成分に対してアレルギーを起こすおそれのある方	

3 帯状疱疹ワクチンを受けるにあたって

過去に帯状疱疹ワクチンを接種した方は、医師に再度接種の必要があると認められた場合に助成対象になります。過去に接種した方は医師に御相談ください。

また、帯状疱疹予防接種は、法律上の義務はなく、本人が接種を希望する場合に接種を受けることができます。

予診票には、「帯状疱疹予防接種希望書」の欄があり、本人の署名が必要です(代筆可)。接種を受ける本人の正確な意思確認が難しい場合には、家族等により本人の接種意思の有無を慎重に確認し、予防接種の実施について決定する必要があります。

最終的に本人の接種意思の確認ができなかった場合は、予防接種法に基づく接種ではないため、助成対象にはなりません。

4 帯状疱疹ワクチンの効果

		生ワクチン(阪大微研)	組換えワクチン(GSK社)
帯状疱疹に対するワクチンの効果(報告)	接種後1年時点	6割程度の予防効果	9割以上の予防効果
	接種後5年時点	4割程度の予防効果	9割程度の予防効果
	接種後10年時点	—	7割程度の予防効果

※ 合併症の一つである、帯状疱疹後神経痛に対するワクチンの効果は、接種後3年時点で、生ワクチンは6割程度、組換えワクチンは9割以上と報告されています。

5 帯状疱疹ワクチンの安全性

接種後に次のような副反応がみられることがあります。また、頻度は不明ですが、生ワクチンについては、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、組換えワクチンについては、ショック、アナフィラキシーがみられることがあります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種した医師(医療機関)へお問い合わせください。

主な副反応の発現割合	生ワクチン(阪大微研)	組換えワクチン(GSK社)
70%以上	—	疼痛*
30%以上	発赤*	発赤*、筋肉痛、疲労
10%以上	そう痒感*、熱感*、 腫脹*、疼痛*、硬結*	頭痛、腫脹*、 悪寒、発熱、胃腸症状
1%以上	発疹、倦怠感	そう痒感*、倦怠感、 その他の疼痛

* ワクチンを接種した部位の症状 各社の添付文書より厚労省にて作成

6 ワクチン接種にあたって

(1) 生ワクチンを受ける方

生ワクチンは1回のみ助成対象です。期間中であっても、生ワクチン2回目や組換えワクチンを接種した場合は、任意接種として全額自己負担となります。

(2) 組換えワクチンを受ける方

ア 組換えワクチンは医師の判断がある場合を除き、2か月以上の間隔をあけて2回目の接種をしますので、令和9年3月31日までに2回目の接種ができるよう、令和9年1月までに1回目の接種を行ってください。
接種間隔不足のため、2回目の接種が令和9年3月31日までに受けられなかった場合、2回目の接種は助成の対象外となり、全額自己負担となります。

イ 体調管理・記録管理のため、原則として、1回目の接種を行った医療機関で2回目の接種を受けてください。

ウ 1回目の接種後に医師(医療機関)から受け取った予防接種済証を、2回目の接種の際に必ず持参してください。

エ 組換えワクチンは2回までが助成対象です。

期間中であっても、組換えワクチン3回目や生ワクチンを接種した場合は、任意接種として全額自己負担となります。

7 他のワクチンとの同時接種・接種間隔

いずれの帯状疱疹ワクチンについても、医師が特に必要と認めた場合は、インフルエンザワクチンや新型コロナウイルスワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン等の他のワクチンと同時接種が可能です。

ただし、生ワクチン(阪大微研)については、他の生ワクチンと27日以上の間隔を置いて接種してください。

8 接種を受けた後の注意点

- (1) 予防接種を受けた後30分間は、急な副反応が起こることがあります。医師(医療機関)とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- (2) ワクチンの副反応の多くは24時間以内に出現しますので、特にこの間の体調に注意しましょう。
- (3) 入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすことはやめ、清潔を保ちましょう。
- (4) 接種当日は、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。

9 副反応が起こった場合

予防接種の後、まれに副反応が起こることがあります。また、予防接種と同時に、他の病気がたまたま重なって現れることがあります。

予防接種を受けた後、接種した部位が痛みや熱をもってひどく腫れたり、全身のじんましん、繰り返す嘔吐、顔色の悪さ、高熱などの症状が現れたりしたら、医師(医療機関)の診察を受けてください。

その他、分からないことや気になる症状が発生した場合は、医師(医療機関)にお問合せください。

10 予防接種健康被害救済制度について

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

気になる症状が発生した場合は、医師(医療機関)又は川崎市予防接種コールセンターにお問合せください。

11 問い合わせ先

川崎市予防接種コールセンター

受付時間:8時30分から17時15分 月～金(祝日・年末年始除く)

電話:044-200-0144 / FAX:044-200-1065